学校通信 (地域版)

## 大屋中だよ

第9号 令和2年 1月14日

時を守り

生徒共通実践目標

場を清 礼め を正す

学期 L さまに 生活をス 過 日 令 'n 七日(火)には、 和二年(二〇二〇年)が お 始業式を迎え、新 か タートさせて れ ま しては、 生徒全員がそろって三 います。 V たな気持ちで学校 かがお過ごしで 始 ŧ 地 りました。 域の 4

> 十分にご留意ください か としました。 六日(木)までの りです。 け 年 地 できるだけ早 域 学年閉鎖を 0 皆様に 欠席 お Ċ かれましても 実 収 施 東を すること 願

うば

とり

わ

生

0

が

多く、この

た

び

充 /実に 向 ・ふるさとキャ け て リア教育」 0

様子に

次第に引き込まれ

て

きまし

た。

n 1 たもの 始 フ 式 ル 0 エンザです。 日 先週末から は 生 徒 全 員 2 そろ 配 なことが つ て 迎 えら

たり、 L な拡大に、早速にマスクの 予防に努めてきましたが、三学期 励行 校では、 院への早めの受診などを呼 活 十分なる 0 これまでからも、 実 施 15 睡 配 眠 慮し など 着用を義 規 た 丁 ŋ 則 ĺ 早 び 寧な手洗 正 掛 務 てきま 々 L 付け 0 け V て、 急 生

徒が、 四日 断 ż ところが れた欠席者は十五人という状況です。 朝に その 0 うち 三連 学校全体で二十人の 1 休 ンフル が 明 け エンザ た 今日、 と診 生 十

に励 n た 敗談も交えながらお話しいた 生き方、 今なお持ち続けておられる夢、これ りする中で、今取り 話をお聞きしたり、実習をしていただい 0 n に、これ ے ち ある方々にたくさんご来校 ば か 本年度、大屋在 0 と実施しているものです。 Ġ ましの言葉をいただいてきまし 視野を少しでも広げ、 大屋で健やか 0 からの社会を生きてい それを支えた信念等につい 生き方に 住 組 あるいは大屋に 1= んでおら て考える 成長してい 自 だくとと 分たち < れることや ただき、お 機 生 く生 までの 会とな 徒 て、 ゅ 0 た か 徒 ち 失 た ŋ

> お越し 業 組 十二月十六日(月)に 合 ただきまし 務 事 で は、 る 池 若杉 田 高 俊 原開 介さん 発 企

を 大屋 経営され 一に来ら てきた ħ る まで 中 での 0 経 様 緯 々なご苦 や、 ス キ 労 1 場



振り な 0 に素直 て、 がら 気 くこと まえな 持 返 ご自 ち に ら 人 とつ を 謝 0 n Ġ 身の 大 伝 つ ながら、 えた 切 たり 話 な さに され 失敗 が 感 ŋ つ 7 謝 つ

えてい ち ち らどこに行こうと、この大屋はとても Y つ ま キな所で、そんなステキな所 た写真を見せていただきなが に呼 から れ育 て、そこで池田 そして、最後に大屋の美しい風景を撮 た感想が び ける大人になっ つ か たんだと、実感を持 12 に けられまし 染 聞 4 さんの話 まし か ħ た。 てほ ました。 た」「若杉高原 を開 講演後、 l で 5 い」と生 て周 私 て た ち 生 りに 4 ステ た 15 徒 徒 は 生

式 前 田 ま 華 は た 汀さんをお招きしました。 ス 新年を迎えた一 ペシャ ル ゲ スト 月七日(火)の として、 始

ご自 生 15 かけ 徒 2 た 身 n る思 は、華 ち 0 0 今年 いをお ħ 汀さんに、新年を寿ぎながら、 まで 話 0 0 しい 意 活 気込み 動を踏 ただくとともに、 15 まえた今年 励まし を



いただこう のです。 É 実施 した

業 とんでも 人前 0 ころ 中 お で話 0 話 0 発 0 中で、 表が な 華 すことなんて 汀 いことだっ 苦手で、 さん 1 は 学 授 生

って前 方々 ども て楽 た れ 自 つ そ る。 ち 身 か 0 15 が ŋ 0 だ L 変わ < 鷩 工 向 前 った自分が、今では Y 15 きに 1 V で 話されま つ 伝 ħ ていると話され、「人は、 書のパ ル Ż V る を送っ よう ての が んだよ。 h ば フォー した。 とし 思い たとエ てく つ てほ を自 て だから、 そして、 だ マンスを披露し V 国内外で大勢の ピ ż L ることに自 分の言葉でし ソ V ر ر 1 ました。 。」と生 そんな子 ドを交え 目 標 を 変 徒 ŧ わ 分

校

体験 たく だき、ご協 を < 直 ż や できる か Ġ 授 接 中 ħ 部 VI 地 さん で て た お 域 活 生 業も大事だ で、身近に だい 話 あ で 0 きる上 V 動 ŋ を聞 る方々に あ だろう 0 を 力いただ りま たりする機会は は 体 講 で VI 験 じ 師 質問ができたり たり、 す。 け 0 か」と考えるからです。 活 め として趣旨にご賛同 お  $\neg$ ħ 動などから学ぶこと Y け 越 とりわけ、 総合力』を育むこと と する校 実習 ることに しいただき、 授業だけで、これ をさせてい 本当に貴重 内での諸 アド 各界で活 深 < 感 バ 生 1 た 徒 活 謝 ٧١

身で、 いただけることになりました。 来 たる一月二十七日(月)には 京都大学教授 中 尾 和 筏地 先生 区 出

ている次第です。

ても Ġ 2 続 碩 か n 楽 等 張 0 け た しみです。 る ŋ 0 々、お話を 大屋で中学校 i か、 ため つ どのように夢を拡げ、 ない 15 は お でい ど の 閳 生 きするのが今 か ような力が 活をどの ħ たの か、志 よう 必 そ か 耍 な

い 前 ひ 地 です。 ۳\_ 域 15 電話 来校くださ 0 皆様も、 (電話 で本校 ご都 **ر ب** にご連 六六九一〇一一一) な 合 お が 絡 よろ () そ た L 0 だける 場 け 合 ħ

線で

活

躍

ż た

れ

て

VI

る

方々に

出

会い

直

接

生

徒

た

ち

が、

様

々な分野

0

(しかも第

0

ち 0

話

を聞

ŋ

と

に活

動

て

い

VI

た

つ

て有意義なことであると捉えてい

ます。

幸

す

ること

は

思

春 ŧ

期

15

あ

る L

生

徒

た た

ち だ

15

事 ぜ

は 動

だ

ス

た

な

<2月前半の行事予定>	
2/1(土)	卓球1年生大会
2/3(月)	全校集会
2/7(金)	調理実習(井口 栄養教諭) (1年)
2/10(月)	私立高校入試 校内テスト(2年)
2/11(火)	建国記念の日
2/14(金)	数学検定

京都大学大学院医学研究科 メディカルイノベー ーションセンタ・

## 一和 特別授業

1月27日(月) 13:35~14:55 本校 北校舎 3階 多目的ホール

ع ا	はば ら安をのに にひとな持後送 来出	
<1月後半の行事予定>		
1/15(水)	進路懇談会	
1/16(木)	進路懇談会、読み聞かせ	
1/17(金)	防災集会 ビックラボ・タイアップ授業(3年美術) 漢字検定	
1/18(土)	但中バレーボール選手権大会	
1/21(火)	6年生登校日 令和2年度入学説明会	
1/23(木)	ビックラボ・タイアップ授業(2年美術)	
1/24(金)	英語検定	
1/27(月)	やぶ・ふるさとキャリア教育講演会(1・2年) (京都大学教授 中尾 一和 氏)	
1/31(金)	スキー教室(1・2年)	